

社会と教会  
生活と信仰  
平和・人権  
分かち合い

聖家族有志会報

# 共生に生きる

No. 17

編集/〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 アドラック内 / 瀬下幸弘

やよい  
弥生  
3  
2012

## 大震災と 福島原発事故から

1年 3月11日は

## 祈りそして実行のよき

日本カトリック司教協議会は、東日本大震災から一年目となる3月11日を「犠牲となった方々を追悼し、被災地の一日も早い復興を願うミサや祈りの集いをカトリック教会で行っていただきたい」と呼びかけています。またこれに先立ち、昨年11月8日には、「福島第1原発事故という悲劇的な災害を前にして、日本にあるすべての原発をいまずに廃止すること」を呼び掛ける日本カトリック司教団メッセージを発表しています。大震災からの復興と原発をなくすための「祈りのうちに自分にできるおこない」を3月11日に実行してみませんか。カトリック小倉教会での集いや、メディアドーム横の「さよなら原発北九州集会」など予定されていますので、誘い合ってください。

（編集部一同より）

社会司教委員会が **Q & A** を発行しました。

600円  
+税

なぜ教会は  
**社会問題**に  
かかわるのか  
(5面を参照)



### お知らせ

- ◆ 3月7日(水) 国際女性デー記念八幡地区集会  
・黒崎市民センター 18時30分
- ◆ 3月11日(日) 東日本震災被災者への募金呼びかけ  
・英語ミサと交流(黒崎)改定入管法学習…15時  
・小倉教会 14時～ 震災のための集い  
・メディアドーム横広場 10時～15時  
「さよなら原発北九州集会」
- ◆ 3月12日(月) 社会福音部会(テレビア) ……19時
- ◆ 3月17日(土) ACO例会(テレビア) ……10時  
ACO例会は4月からは聖書の学び。
- ◆ 3月24日(土) 九条守りたい(西南KCC) …14時
- ◆ 3月25日(日) 虹の会(分かち合い) ……ミサ後

マザー・テレサの祈り  
あなたの中の最良りものを

善い行いをして、おそらく次の日には忘れられるでしょう。  
気にすることなく、し続けなさい。

東日本大震災被災者支援

2月11日,12日の募金額は

**49,763円** でした。

大原神父からの礼状届く 3面関連記事

2月11日(土)  
熊本マリスト学園

## 日本カトリック難民移住移動者委員会 長崎教会管区セミナーが開かれました

### 「To Live in Harmony, with Faith and Social Responsibility」

—信仰と社会的責任を持って、調和の中に生きる—



長崎教区、大分教区、福岡教区から約200人程、北九州地区からは、司祭1人、修道者1人、そして青年1人を含む外国籍・日本人信徒約23人が参加しました。

午前には、佐藤信行様（在日韓国人問題研究所 所長、外キ協事務局員）による2012年7月9日から実施される改定入管法についての基調講演がありました。その後日本人、外国籍一緒に20のグループに分かれて、改定入管法について疑問に思うこと、解らないことそしてお話を聞いての感想などを分かち合いました。

午後からは、佐藤様と中島様(行政書士、外国人と共に生きる会-KUMUSTAKA)が、午前中の分かち合いで出された質問に答える時間が持たれました。日々の生活につながる具体的な質問もありました。また、セミナーに参加した子供たち全員による、マザーテレサの歌に合わせた手話や、熊本の子どもたちのプレゼンテーションとしてハワイアンダンスも披露され、和やかな時間を過ごしました。

最後に、宮原司教と6人の司祭司式によるミサ

が行われ、盛況のうちに終わることができました。

参加した方から、「多様性を生き、外国籍の方と共に歩む教会でありたい。」「外国籍の方と共に生き、生かしあう教会の大切さ、必要性」「日本で暮らす外国籍の方がおかれている苦しい立場に驚いた。知らなかった。無関心でいたくない。」「3/11震災は予期せずやってきた。なす術がなかった。今回の入管法改訂に関しては、その実施までの期間、できることをやっていくことが大切」という感想がありました。

また、「日本人（外国籍）と一緒に一日共に過ごし、とても楽しかった。」「ミザがとてもよかった。」という声もありました。



バスの中

## 一緒に学んで下さい。改定入国管理法の問題点について

公開学習会のご案内

日時：3月11日(日) 16時～18時

会場：カトリック黒崎教会ペトロの部屋

講演：岩本光弘さん（移住労働者と連帯する全国ネットワーク共同代表）

費用：200円（資料代）

担当：有吉 TEL 090-8229-3167

主催：日本カトリック難民移住移動者委員会

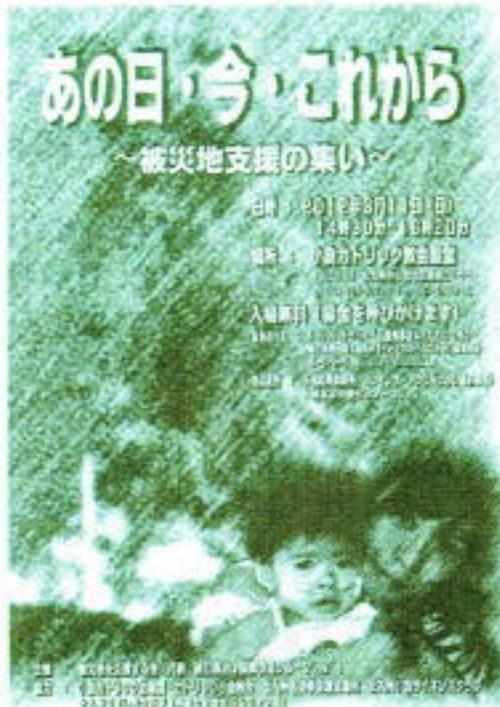


●カトリック小倉教会の集い

14時30分～16時20分

- ・黙とう(14時46分)
- ・被災者・避難者トーク
- ・子どもたちからのメッセージ
- ・朗読 ・被災地からの映像

小倉教会の案内チラシ



●さよなら原発3・11北九州集会

メディアドーム横広場

10時～15時その後パレード

さよなら原発の案内チラシ



- 10時～  
バンド演奏  
シンポジウム
- 13時30分～  
本集会  
呼びかけ人挨拶
- 14時46分  
黙とう
- 15時  
パレード

屋台、他出店  
有ります。

東日本大震災被災者支援関連ニュース

◆ 2月11日、12日の募金 49,763円

外国人被災者支援センターCTICに送金致しました。いつも御協力有難うございます。(2/13送金)

外国人被災者支援センターCTIC所長 大原 猛神父様のお礼状が届きました

「東日本大震災、外国人被災者、避難者のために度々義援金をお送りいただき、スタッフ一同心より感謝申し上げます。一中略一これ迄、岩手、宮城、福島、山形の被災地で外国語のミサを行いました。この大震災をきっかけに、カトリック信徒でない家族の理解を得、教会に来ることが出来たと喜ぶ人もいました。今後は彼ら自身が、現地の教会共同体の一員となって活躍してくれることでしょう。一方、被災者の生活は大変厳しい状況のままです。福島での果樹園を営むある家族は、地震直後から秋の収穫のため果樹の手入れをして来ました。しかし、検査で異状がないにもかかわらず、福島産というだけで果物は売れません。家族の生活は一気に困窮状態となりました。家族は果樹園の仕事をやめ、住み慣れた土地を離れて別の場所で生活するか、苦しい決断に迫られています。せめて、子ど

もの健康のため、しばらく安全な所で生活させたいと思っても、経済的に厳しい状況の中、簡単なことではありません。家族全員で別の所に移って生活を立て直すにも蓄えも底をつきつつあり、経済的にも精神的にも追い詰められている状態です。

私たちの微力さを感じる毎日ですが、まずは話を聞き、状況に応じて出来るだけ自立に向う支援をして参りたいと思います。まだまだ日常を取り戻すには時間がかかりそうです。どうか今後も支援を賜りますようお願い申し上げます。 大原 猛」

皆様のご協力を感謝しつつ、この厳しい状況を生きておられる被災者の方々に日常の微々とした小さなことを通してもつながっていきたく願っています。今後ともよろしくお願い致します。援助修道会 Sr.高木百世

# 私にとって2.11(建国記念の日)とは

2月11日(土)14時～ 細江カトリック教会で開かれました



左から  
日本キリスト教会下関教会牧師  
浄土真宗光明寺住職  
日本福音ルーテル教会下関教会牧師  
カトリック信徒

“紀元節”と聞いても若い人たちはほとんどが知りません。そして「建国記念の日」については多くの方が「国民の休日」くらいにしか考えていないと思います。ところが、下関市では、建国祝賀パレードが毎年開催され、それに市が補助金を出しています。そもそも2月11日は、戦前の紀元節として、三大祝祭日のひとつでした。神話に登場する神武天皇が橿原の宮を建て、即位の礼を行ったとされるのですが、神武天皇の存在自体科学的根拠のないものです。

宗教者たちが、「建国記念の日」を祝う行事に異を唱えるのは、これが信教の自由と深く関連がある問題だからです。今回、下関の祝賀パレードを初めて見ました。軍艦マーチなど勇ましい曲と共に、手に手に日の丸を振って消防団、自治会、早起き会などが行進していました。そして最後に幸福実現党までもが行進していたのには、あきれましたが、看過することができないほど“今の時代”がおかしな方向へと動いていることに改めて感じさせられました。(R)

細江カトリック教会前を行進



最後列のグループ



## 今後の主な取組です

- 4月15日(日) 障がい者と共に歩こう会  
畑貯水地  
ビンゴゲームの景品を呼びかけます。
- 4月30日(月) ハンセン病菊池恵楓園訪問  
定員23名 弁当込み2,500円
- 6月3日(日) 平和講演 秋吉久紀夫先生
- 8月12日(日) 北九州平和の集い
- 9月17日(月) 親睦レクリエーション
- 9月22日(土) 教区信徒協研修会

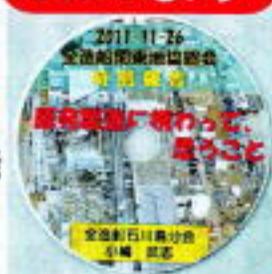
## 北九州聖書講座案内

### マルコによる福音書に導かれて

- 4月15日…深堀勝人神父
  - 6月17日…(司祭の異動後)
  - 9月30日…山元 眞神父
  - 11月18日…森山信三神父
- お後場  
知日所  
らは  
せ

原発製造に従事した労働者(ACO会員)が、福島原発事故について話しをされた講演録がDVDになりました。昨年12月末時点での報告ですが、脱原発に向けて役立つと思います。  
1枚600円 (ACO会員まで)

### ACOより



## 分かち合いのとき

2月26日 21名参加

# 虹の会

次回、3月25日

## —共に生きる—

長渕剛の歌「ひとつ」を聴いて分かち合いました。この歌は、東日本大震災の被災地を訪れた彼が、人々への想いを綴った歌です。

参加された方からは、「共に生きることの大切さを感じた」「できることは限られるが、祈りによってつながりたい」という声が聞かれました。

また、震災のみにとどまらず、「小さくされた人々

と共に生きることが教会の歩みの課題」「キリストのうちにひとつになる」「支え合って自立の道を歩むことが必要」などの思いが分かち合われ、豊かな時間を過ごしました。

今回は、3月25日 カリタスジャパン小冊子「つなぐ」をもとに分かち合います。

どなたでもご参加ください。

わたしたちは、これまで寄せられたさまざまな質問や疑問に  
答えなければならないと考え、冊子を発行することにしました。

日本カトリック司教協議会 社会司教委員会 委員長 高見三明

- Q1. 教会はなぜ、社会問題について発言をするのですか？
- Q2. 教会が社会問題と向き合うときの基準は何ですか？
- Q3. 社会問題にかかわることとキリスト教の説く「救い」とは関係があるのですか？
- Q4. 「来世のいのちを待ち望みます」と信仰告白する者にとって、世俗のことがらは二義的なことではないでしょうか？
- Q5. 地上における差別や貧富の差、戦争や紛争がなくなること、それがすなわち「救い」なのですか？
- Q6. 教会に属する者は、社会問題についてそれぞれどのようにかかわるのですか？
- Q7. そもそも聖職者が政治的な発言をすることは許されることなのですか？
- ⋮
- Q33.

冊子のお求めは、カトリック中央協議会へ

# なぜ教会は 社会問題に かかわるのか Q&A

## 読者投稿

### “共同回心式”日程は？

他の教会で、共同回心式日程などを聞きました。北九州全体のものは信徒協だよりに掲載されるとのことでしたので、待っています。黒崎教会にはどの司祭がこられるのでしょうか。(新)

### 奄美大島に行ってきます。

長いタイトルですが、「奄美のカトリック教会から信教の自由と政教分離を考えるシンポジウム」に参加します。3月3日の土曜日、古田町マリア教会です。

奄美のカトリック教会(信者)は戦前戦中、日本軍から弾圧を受けた経験を持っています。今回3人の方が証言される予定です。平三國さん、押川はるかさん、松原ちさとさんたちです。谷司教さんが司会進行をつとめますので、私はカトリック20条の会事務局員として準備や撮影、録音、販売などを担当します。初めての奄美なので観光も…と思ったのですが一泊だけのお土産は今回ありませんのでご了承ください。もし行けるなら、ハンセン病療養所の奄美和光園にも寄ってみたいと思います。奄美シンポジウムの次は「聖堂の日の丸」を書いた新聞記者の講演会があるそうです。このお話も聞いてみたいと思います。(瀬下)

### 定年を迎えました！

60歳が定年の職場です。でも気持ちは50歳。これからもっと新しい分野に挑戦していきます。社会と関わりながら生涯現役を目指します。きょうというのはこの世に生を受けて一番年を経た日、そして一番若い日です。(玲)

### 我が家の家族“ぐっぴーちゃん”2匹

昨年6月号でご紹介しました熱帯魚のぐっぴーちゃんが、あと2匹となってしまいました。淋しいかなと思うけど、やっと二人？になれたと喜んでいるかも…。(子)

## ツイッター

### 一文箋(ひとふみせん)作りました。

九条の会の“平和メモ”の第2弾。一文箋が出来ました。かなり高級感のあるものです。



届けた  
平和の  
一文箋  
2冊  
300円  
メッセージ



3冊200円

平和メモ

キリスト者・九条の会  
高瀬まで連絡を

## 自らを形作る

「従軍慰安婦」問題にかかわって(1)

山 県 順 子

この小さな原稿が、とくにお若い方の目にとまれば幸いです。

「日本軍」「従軍慰安婦」とは一言でいえば、日中戦争、第二次世界大戦時代に、日本軍が、占領、進軍したアジア各地に、兵士の性の相手をさせる「慰安所」を作り、現地の少女や若い女性たちを半強制的に連行。そこに閉じ込められ、公然と長期的に強姦、輪姦され続けることを強要されていた女性たちのことです。現在の発表数約5〜6万、既に半数以上が亡くなり生存者は90歳前後になっておられます。

私は下関在住で、第二次大戦が始まった1941年の生まれです。29歳で受洗、信仰歴42年のプロテスタント信者です。昨年、元「慰安婦」宋神道(ソン・シンド)さんが主人公の「慰安婦」映画「オレの心は負けてない」の上映会を呼びかけさせて頂きました。この映画上映の究極の目的は、次代を生きる若い世代に二度とこのような体験をさせないためなので、上映実行委員会の協力を得て、市内の大学、高校、中学の13校をPRに訪問しました。学長や校長方が上映主旨に理解を示してくださいました。誠にご挨拶しました。来会者約260名。アンケートの中には、私の孫娘くらいの10代の女性が「まだ戦争は終わっていない」など熱心に応答して下さったものもありました。私も、世界の歴史は何千年も男性優位女性劣位で組み立てられて来たこと、その名残が20世紀にもすっかり残存して、このように凄絶な足跡を刻んでしまったのだと、決して忘れず伝え続けねばならない事柄だと思っています。

「女性とは何か」についていつも考え続けて来ましたが、大

日本軍「慰安婦」問題を考えるために

終わらない戦争  
上映会のご案内

と き / 3月31日(土) 14時～

と ころ / 小倉北区生涯学習センター

参加費 / 500円

連絡 ☎ / 090-6635-5919

主催：日本軍「慰安婦」問題解決のために行動する会・北九州

## 編 集 後 記

2月26日、宮崎教会で交流のチャンスに恵まれました。ある方が「どんなに聖書を学んでも、それを具体的な実生活で活かすのが難しい課題なんです。」それでは逆に考えてみてはいかがでしょう、ということでテーマは「暮らしの中に見る福音」となりました。立ちんぼ(日雇い)体験から、最初に雇われる人は、頑丈そうな人、顔見知りの人などで年をとっていたり、ひ弱そうな人は後回しになること、雇われなかった人もすぐに立ち去らないことなどを知りました。生きるに必死だからです。雇われた人よりも雇われなかった人の苦しい思いを知っておられる方がいます。先のが後になり、後のが先になる。すぐ聖書につながります。(瀬下)

変遷まきながらやっと70歳で「慰安婦」映画の上映提案をさせて頂くことができたのでした。

戦争における性犯罪を裁く法律は歴史上まだ存在していないようです。女性の尊厳に関して、日本軍「慰安婦」のような言語を絶する悲惨な例でも、第二次世界大戦後の極東軍事裁判の対象項目にはなっていない。日本政府の責任転嫁発言に端を発し、アジア各地から血を吐くような証言がひき続いたのは、戦後約50年後のことでした。20世紀の貧しい老女たちが半世紀もの沈黙に耐え、恥に満ちた忌わしい過去の真実を明かされたことが、閉じられた組織的性暴力の扉を世界に向けて開いたことになったのです。

このことは、誰も顧みない最も底辺にあって、「慰安婦」だった方々が、自分の証言により、自分で自分を癒す決心をされたことが、結果的に、再生へと自らを形作ることに繋がったのだと思います。(つづく)